

～原発事故から13年～

フクシマを忘れない さようなら原発！道北集会

福島原発事故からまもなく13年が経過しようとしていますが、事故はまだ収束していません。また1月1日に発生した能登半島地震により、原発に対する不安の声がますます強まりました。北海道では、核のごみの最終処分場の文献調査が寿都町・神恵内村で概要調査に進むかどうかの瀬戸際に立たされています。幌延町でも500mの坑道掘削が進められています。特定放射性廃棄物小委員会委員であり、寿都や対馬市に通い続けてきた高野聡さんと一緒に、核ごみ最終処分政策の問題点を明らかにし私たちが何をすべきかを考えましょう。

核ごみ処分政策の

問題点と調査拡大阻止

のための運動の役割

たかの さとし
高野 聡 さん
(原子力資料情報室)

神奈川県・横須賀市出身。青山学院大学卒業、韓国・慶北大学大学院で行政学修士号取得、ソウル大学環境大学院博士課程修了。韓国に2010年から11年間滞在。2022年2月より原子力資料情報室(CNIC)スタッフ。



2024年

日時

3月9日(土) 午後2時～4時

会場

旭川市民文化会館 小ホール
(旭川市7条通9丁目)

◆参加申し込み不要・入場無料です

主催：道北平和フォーラム 旭川平和フォーラム

共催：道北核廃棄物処分場反対連絡協議会

問い合わせ先電話 0166-22-1178